

誰もが安心して暮らし続けられるまちへ 新たな時代へ挑む予算

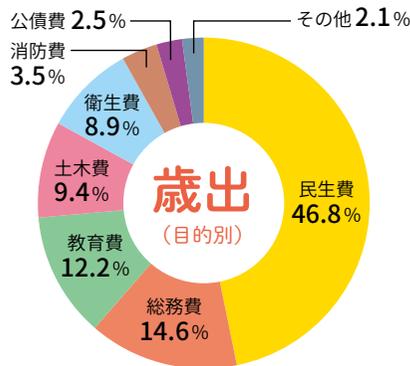
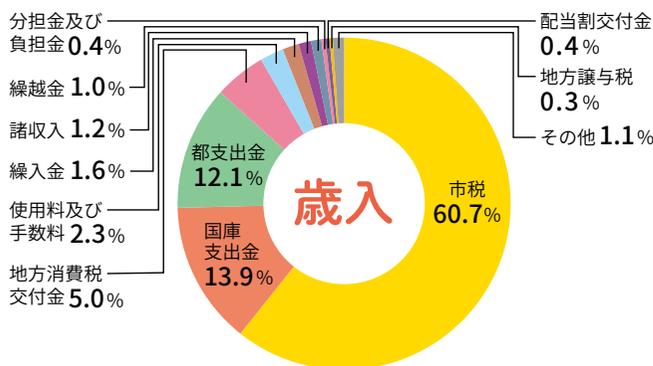
一般会計予算 676億6300万円 [前年度比3億300万円減]

令和2年度の一般会計の予算規模は、前年度比0.4%、3億300万円減の676億6300万円となりました。第六期長期計画の初年度として、計画の各分野に掲げられた施策を着実に推進するとともに、新たな課題にも対応しながら、持続可能な市政運営を行っていくため、限られた財源を重点的かつ

効率的に配分することを基本に予算を編成しました。

予算とは、4月から翌年3月の会計年度における収支（歳入・歳出）の見積りであり、当該年度に実施する行政サービスの内容や費用を表しています。地方自治法などに基づいて市議会に予算案を提出し、3月の市議会にて審議されます。

一般会計歳入・歳出予算



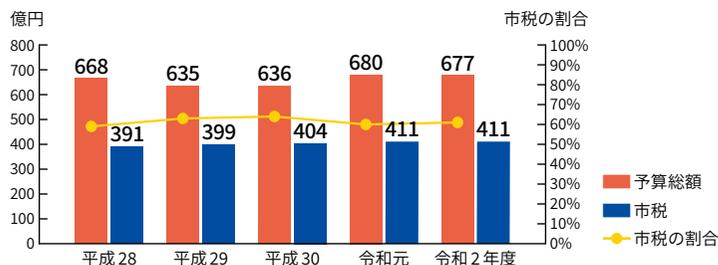
■市税の内訳

	令和2年度	令和元年度	増減額	増減率
個人市民税	176億800万円	174億8800万円	1億2000万円	0.7%
法人市民税	27億9400万円	31億0000万円	△3億600万円	△9.9%
固定資産税	164億7130万円	163億3360万円	1億3770万円	0.8%
都市計画税	27億1800万円	26億9100万円	2700万円	1.0%
その他	14億9780万円	14億4500万円	5280万円	3.7%
合計	410億8910万円	410億5760万円	3150万円	0.1%

■主な行政目的の説明

- 民生費** 社会福祉、高齢者福祉、児童福祉、生活保護などの経費、保育施設や福祉施設の経費など
- 総務費** 企画、財務、徴税、統計、住民票・戸籍などの経費、庁舎や市民文化会館などの維持管理、人件費など
- 教育費** 市立小・中学校、学校給食調理施設の建設および管理運営、図書館・武蔵野プレイス・総合体育館などの管理運営に要する経費など
- 土木費** 道路・公園の整備や維持管理、計画的なまちづくりに要する経費など
- 衛生費** 各種検診や予防接種などの保健・医療・健康づくり事業、ごみの収集・処理、公害対策に要する経費など

■予算総額と市税予算額の推移 (一般会計)



■主な性質別予算構成比

- 扶助費** 27.1% 福祉、医療給付費など
- 物件費** 24.7% 物品費、光熱水費、委託料など
- 人件費** 15.6% 職員給与、議員報酬など
- 補助費等** 12.9% 市民や各種団体への補助金など
- 投資的経費** 8.4% 道路や学校などの施設整備など
- 繰入金** 7.6% 特別会計などに繰り出す負担金
- 公債費** 2.5% 市債(市の借金)の返済など
- その他** 1.2% 維持修繕、貸付金、積立金など

市民1人当たりの 予算額

[]は前年度予算

市民の人数

14万6871人

令和2年1月1日現在

1人当たりの予算額

46万697円

[46万4252円]

■高齢者、障害者福祉
などのために

12万2319円

[12万631円]



■行政運営のために

4万4829円

[4万3915円]



■市民の健康を
守るために

1万9787円

[2万1816円]



■子育て支援の
ために

10万2391円

[9万4286円]



■学校教育、図書館、
スポーツ振興に

5万5981円

[5万7482円]



■道路、公園整備など
まちづくりに

4万3798円

[4万7975円]



■ごみ処理、環境保全の
ために

2万2173円

[3万375円]



■消防、防災対策に

1万6086円

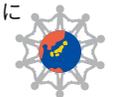
[1万5835円]



■コミュニティ、文化、
国際交流のために

1万2397円

[1万1970円]



■市債(市の借金)の
返済に

1万1637円

[1万1431円]



■商業振興、消費者
保護のために

4482円

[3704円]



■市議会運営に

3248円

[3278円]



■その他

1569円

[1554円]



基金(市の貯金)の状況

区分	令和2年度末残高見込	令和元年度末残高見込
財政調整基金	61億 486万円	61億 480万円
特定目的基金		
公共施設整備基金	143億 3480万円	145億 8231万円
学校施設整備基金	128億 1509万円	131億 1458万円
吉祥寺まちづくり基金	46億 2921万円	46億 9091万円
公園緑化基金	51億 2495万円	52億 2467万円
その他	12億 7226万円	13億 8789万円
介護給付費等準備基金	8億 4904万円	9億 1788万円
下水道事業基金	8億 5625万円	8億 3825万円
合計	459億 8646万円	468億 6129万円

※老朽化した施設の更新、公園や都市インフラの整備などの財源として活用するため、公共施設整備基金や学校施設整備基金などを設け、積み立てをしています。

借入金(市の借金)の状況

区分	令和2年度末残高見込	令和元年度末残高見込
一般会計	117億 8148万円	132億 3867万円
下水道事業会計	80億 3268万円	81億 916万円
土地開発公社	92億 2244万円	54億 5723万円
合計	290億 3660万円	268億 506万円

※道路や公園、学校など長年にわたり使用する施設の建設費や土地購入費の資金を借り入れ、毎年公債費として返済をしています。多額な支出による財政負担を年度間で平準化すること、将来の市民にも公平に費用を負担していただくという考えにより借り入れを行っています。

会計別予算額

会計名	令和2年度	令和元年度	増減率
一般会計	676億 6300万円	679億 6600万円	△ 0.4%
下水道事業会計	—	27億 4984万円	皆減
国民健康保険事業会計	129億 1787万円	130億 1816万円	△ 0.8%
後期高齢者医療会計	38億 5424万円	37億 4842万円	2.8%
介護保険事業会計	119億 8852万円	115億 5556万円	3.7%

※下水道事業会計は、令和2年4月1日より特別会計から公営企業会計に移行します。

水道事業会計予算額

区分	令和2年度	令和元年度	増減率
収益的収入	37億 2955万円	37億 661万円	0.6%
収益的支出	36億 7551万円	36億 6984万円	0.2%
資本的収入	3億 2559万円	7230万円	350.3%
資本的支出	18億 8526万円	10億 292万円	88.0%

下水道事業会計予算額

区分	令和2年度	令和元年度	増減率
収益的収入	30億 9807万円	—	皆増
収益的支出	30億 4804万円	—	皆増
資本的収入	8億 1711万円	—	皆増
資本的支出	12億 1094万円	—	皆増

※下水道事業会計は、令和2年4月1日より特別会計から公営企業会計に移行します。

■ **都有地活用（旧くぬぎ園跡）における
障害者グループホーム整備事業** **LEVEL UP** **1800万円**

令和2年12月（予定）に桜堤1丁目（都有地）に開設される「日中サービス支援型グループホーム」により、障害者の重度化・高齢化への対応の充実を図る。

■ **都有地活用（旧くぬぎ園跡）における
介護老人保健施設整備事業** **LEVEL UP** **1億8022万円**

令和2年4月に桜堤1丁目（市有地と都有地を一体的に活用）に開設される介護老人保健施設「サンセール武蔵野」により、今後さらに高まる医療ニーズに対応した高齢者を支える施策の充実を図る。

■ **地域活動支援センターの人員体制強化** **LEVEL UP** ***6600万円**

生命と健康を守る取組みの強化

■ **がん検診等事業の推進** **LEVEL UP** ***2億104万円**



▲胃がん検診の様子

がんによる死亡率減少を目指し、効果的な受診勧奨と胃がん・肺がんセット検診、土曜日検診に加え、新たに女性のための託児付き3がんセット検診、胃がん内視鏡検診を開始し受診者の利便性、受診率向上を図る。

■ **若年層健康診査事業** **LEVEL UP** ***1705万円**

■ **データヘルス計画に基づく保健事業の充実** **LEVEL UP**

***950万円**

■ **予防接種事業** **LEVEL UP** ***5億1860万円**

四種混合、麻しん風しん、高齢者インフルエンザなどの定期接種を実施するとともに、新たに定期接種化されるロタウイルスワクチンの予防接種を実施する。また、骨髄移植などにより免疫が消失した方への予防接種費の助成などを実施する。

■ **食育推進事業** **201万円**

■ **武蔵野赤十字病院新病棟建設等事業** **7000万円**

子ども・教育

子ども・子育てを応援するまち

■ **認証保育所の認可化移行** **LEVEL UP** **5億5831万円**



▲認可保育園の様子

希望する保育施設に入所できるようにするため、認証保育所の認可化により、引き続き3歳以降の受け入れ枠の確保を含め認可保育所の定員枠の拡充を図る。

■ **認可外保育施設入所児童保育助成事業** **LEVEL UP**

***1億1844万円**

■ **私立幼稚園等園児保護者に対する助成事業** **LEVEL UP**

***9億8040万円**

令和元年10月の幼児教育・保育の無償化開始に伴い、補助額を見直す。また、保育所を利用する幼児について、無償化の対象外となる給食費を公費負担とするため、幼稚園などについても、給食費などの負担軽減を図る。

NEW 新規事業

LEVEL UP 拡大・充実事業
(予算額に「*」のある事業は、既存事業の金額を含む)

ふるさと 武蔵野市ふるさと応援寄附（ふるさと納税）でいただいた寄附金を充当する事業

健康・福祉

まちぐるみの支え合いを広げます

■ **地域包括ケア人材育成センター事業** **2759万円**

福祉サービスを担う人材の確保・育成を一体的、総合的に行う機関として開設した。（公財）武蔵野市福祉公社に運営を委託し、人材養成事業、研修・相談事業、就職支援事業、事業者・団体支援事業の4つの事業を柱に、さらなる展開を図る。

■ **シニア支え合いポイント制度の推進** **LEVEL UP** ***445万円**

■ **高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画策定** **LEVEL UP**

995万円

■ **障害者計画・第6期障害福祉計画の策定** **LEVEL UP** **657万円**

■ **在宅医療・介護連携推進事業** **942万円**

■ **レモンキャブ事業** **LEVEL UP** ***2857万円**



平成12年10月に事業を開始してから20年を迎える。利用者の一層の安全・安心のため、バックモニターおよび後方も記録できるドライブレコーダーを設置する。

◀レモンキャブ

誰もが安心して暮らし続けるために

■ **児童発達支援センターの開設** **NEW** **8973万円**



相談体制の強化や定員の拡大を図ってきた「相談部ハビット」と「通園部ウィズ」を一体化し、国の構造改革特区制度の活用により、令和2年4月より「児童発達支援センター」として開設する。

◀みどりのこども館

■ **生活困窮者自立支援事業** **LEVEL UP** ***4189万円**

■ **成年後見制度利用促進基本計画に基づく中核機関の運営と
地域連携ネットワークの構築** **NEW** **42万円**

武蔵野市成年後見制度利用促進基本計画に基づき、後見人と関係機関との連携を図るため、市と（公財）武蔵野市福祉公社が連携して地域連携ネットワークの中核機関となり、市民への周知啓発や後見人支援などを拡充し、被後見人とその家族の安心につなげる。

■ **桜堤ケアハウス内における放課後等
デイサービス事業等の実施** **NEW** **ふるさと** **6235万円**

桜堤ケアハウスデイサービスセンターの機能転換を図り、肢体不自由児や医療的ケア児などを対象とした、放課後等デイサービス事業を実施するとともに、児童発達支援センター機能の1つである「相談部ハビット」のサテライトオフィスを設置し、療育相談事業を実施する。

平和・文化・市民生活

多様性を認め合う平和な社会へ

■平和・憲法啓発事業 LEVEL UP * 742 万円

令和2年度で戦後75年を迎えることから、青少年平和交流派遣団として中高生の長崎市への派遣を行うなど、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に継承していくため、平和・憲法啓発事業を行う。



▲武蔵野市平和の日(11月24日)講演会の様子

■男女平等推進施策事業 LEVEL UP * 2336 万円

男女平等の推進に関する条例に基づき、研修・啓発、情報収集・提供、団体支援、相談事業、調査・研究や苦情受付などを行う。多様性への理解促進を図り、パートナーシップ制度の導入について検討する。

■多文化共生社会のさらなる進展に向けた国際交流協会の体制強化 LEVEL UP * 7450 万円

コミュニティ・市民活動を支えるために

■コミュニティ活動の推進 5 億 9085 万円

16 協議会によるコミュニティセンターの管理運営の支援、適切な維持修繕などを行う。安全性・利便性向上のため、各施設に防犯カメラを取り付けるほか、体育施設に冷暖房機器を設置する。

■次期市民活動促進基本計画の策定 LEVEL UP 350 万円

■クラウドファンディング活用促進事業 NEW 50 万円

災害に強い、安全・安心なまちづくり

■震災復興に関する基本方針策定 NEW 360 万円

■防災行政無線デジタル化 LEVEL UP 1 億 4124 万円

■防災情報システム更新 LEVEL UP 8040 万円

災害対策本部の情報収集・集約強化を図り、意思決定を支援するための広域的な災害事象の一元管理などを実現するため、防災情報システムを更新する。

■消火栓の計画的改修工事 LEVEL UP ふるさと 6910 万円

■災害対策用世帯住宅の借上げ LEVEL UP 1253 万円

災害時の緊急初動態勢を強化するため、市内の世帯用賃貸物件の借上げを行い、初動時の要員確保の充実にを図る。

■災害時物資供給マニュアルの策定 NEW 494 万円

■民間住宅耐震化促進事業(耐震アドバイザー派遣・耐震化助成) 1 億 4971 万円

■特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業 2 億 9086 万円

■生活安全対策事業 1 億 3119 万円

■保育の質向上の取組み LEVEL UP * 1302 万円

■妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援の推進 LEVEL UP * 2 億 6905 万円



妊婦届出時に専門職による面接を受けた妊婦に対して加盟店で利用可能な「子ども・子育て応援券(こども商品券)」を配布し、面接率の向上および出産・子育てに関する不安軽減や孤立防止を図る。また、妊娠期から子育て期までの総合的な相談支援を行うため、システム環境の整備を図る。

■学童クラブ事業 LEVEL UP * 6 億 8064 万円

学童児童数が増加している第一小学校でクラブ室を増設するほか、民間学童クラブの運営費補助を拡充する。

■子どもの医療費助成の拡充に向けた検討 NEW 101 万円

子どもの保健を向上させ、子育て家庭の経済的負担を軽減して必要な医療を安心して受けられる環境を整備するため、子どもの医療費助成の対象年齢の上限を15歳から18歳に拡大し、所得制限なく無償とする仕組みを検討し、制度の導入を目指す。

■子ども家庭支援センター事業 6118 万円

児童虐待を防止し、子育てに不安を持つ家庭を支援するために、相談事業の強化・充実、育児支援サービス、関係機関との連携を推進する。

■子ども・コミュニティ食堂運営費補助事業 NEW 72 万円

子どもの「生きる力」を育む教育

■新学校給食桜堤調理場(仮称)の建設事業 1 億 2109 万円



▲完成イメージ

■学校改築事業 LEVEL UP * 7560 万円

■教育の質の向上と教員の働き方改革の推進 LEVEL UP * 7093 万円

市講師(市独自で任用した講師)、部活動指導員、学習指導補助員などの配置により教育の質の向上を図るほか、放課後などに学習支援教室を実施する。また、教員の働き方改革を推進する。

■不登校対策の総合的推進 LEVEL UP ふるさと * 4438 万円

不登校などに対応する体制を強化するため、スクールソーシャルワーカーを3名増員して6名体制にするともに、不登校児童生徒を支援する「家庭と子どもの支援員」の対象校を拡充する。さらに、高等学校などへの進学後も見据えた相談支援、学習支援、体験活動などを行う学びの場を開設する。

■特別支援教育の推進 LEVEL UP * 1 億 1937 万円

■交流共同学習支援員の配置 NEW 275 万円

小学校特別支援学級設置校に交流共同学習支援員を配置し、特別支援学級の児童と通常の学級の児童との交流および共同学習の機会を拡充する。

■特別支援教育・不登校支援の ICT 環境整備 LEVEL UP 745 万円

緑・環境

環境と調和した都市を目指して

■環境啓発施設の開設 NEW ふるさと **6075万円**

引き続き、さまざまな主体が参加する連携会議や環境の学校などの事業を進め、11月の開設を目指す。開設後は多様な環境啓発の拠点として、地域やまちに根差した市民参加型の施設運営を行う。



▲環境啓発施設として活用される旧クリーンセンターのプラットホーム

■受動喫煙防止の推進 NEW **3701万円**

喫煙者と非喫煙者の共存を図るとともに、路上禁煙地区内での禁煙の徹底と受動喫煙防止に資するため、吉祥寺駅前に閉鎖型喫煙所を設置する。あわせて、武蔵野駅前の喫煙所設置について検討する。

■第五期環境基本計画の策定 **300万円**

■エネルギー地産地消プロジェクト **1557万円**

クリーンセンターのごみ発電による公共施設へのエネルギー地産地消事業を拡充し、一層の二酸化炭素の排出削減とエネルギー受給の最適化を図る。

■市庁舎照明等改修工事 **6567万円**

市庁舎の蛍光灯をLED照明器具に改修し、消費電力の削減を図る。

■効率的なエネルギー活用推進助成事業 **2545万円**

■庁用車のクリーンエネルギー化の推進 LEVEL UP **3151万円**

庁用車の買い替えにあわせ、電気自動車6台およびプラグインハイブリッド自動車2台を配備する。

緑豊かなまちづくりの推進

■公園等建設事業 LEVEL UP ふるさと ***9631万円**

中央通り公園の木製複合遊具の更新や長寿命化の視点による公園施設の更新などを実施する。また、街路樹の保全を行う。

■千川上水整備事業 **4205万円**

■吉祥寺東町農業公園の開設・運営 NEW **606万円**

「農」の大切さを実感できる場として、4月に吉祥寺東町3丁目に吉祥寺東町農業公園を開設し、農業体験教室や農業講座などのイベントを通じて、市民が「農」に触れる機会を提供する。



▲関前農業ふれあい公園での農業体験の様子

■保存樹林等の指定 **1634万円**

多様な文化の醸成と学習活動の充実

■武蔵野アール・ブリュット2020の開催 LEVEL UP ふるさと **400万円**

アートを通した多様性を大切にする地域づくりの一環として、アール・ブリュット作品の公募を行い、7月17日から26日(予定)にかけて、吉祥寺美術館での展示を行う。



▲武蔵野アール・ブリュット2019

■文化施設のあり方の検討 **457万円**

■文化財保護普及事業 **2533万円**

■ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイスの管理運営 **5億7745万円**

■子ども読書活動推進計画の改定 LEVEL UP **294万円**

■むさしのサイエンスフェスタの開催 **321万円**

東京2020大会によるレガシー創出と継承

■東京2020大会等に向けた市実行委員会による取組み LEVEL UP ***5000万円**

今年開催される東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、市内関係団体と設置した実行委員会とともに、駅前でイベント実施やスポーツボランティアなどを通じて、市民の心に一生残るような体験を提供する。また来街者を歓迎する取り組みなどを充実するとともに、これまでの実績や経験をレガシーとして残す。

■東京2020オリンピック聖火リレー・セレブレーション NEW **2921万円**

7月17日の夕方に市内を走る聖火リレーと、聖火の到着を祝うセレブレーションを市民の記憶に強く残るものとするともに、会場・沿道の準備やスタッフ・ボランティアの確保などを行う。

■Sports for All 事業の実施 **550万円**

■ホストタウン事業の推進 LEVEL UP ***809万円**

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催前および期間中にルーマニアの応援企画や来日する選手との交流の機会を設定し、国際交流を深める。

まちの魅力を高める産業振興

■コンテンツを活用した連携事業 NEW **110万円**

市内コンテンツを生かし、さまざまなクリエイターの活動にも注目しながら、武蔵野市らしい新たな事業連携を生み出す仕組みの検討を行うため、市内団体調査、各種イベント調査などを実施する。

■武蔵野市ふるさと応援寄附の充実 **1800万円**

■認定農業者等経営改善支援補助事業 LEVEL UP ***890万円**

■都市農地保全支援プロジェクト NEW **1230万円**

- 第四次住宅マスタープランの策定 665 万円
- 市営住宅長寿命化計画の改定 220 万円

暮らしを支える上・下水道

- 配水管網整備推進事業 2 億 9454 万円
- 浄水場・水源地施設維持更新事業 2 億 661 万円
- 石神井川排水区雨水幹線整備事業 2 億 6978 万円
- 下水道ストックマネジメントの推進 **NEW** 3 億 1712 万円



▲下水道の工事の様子

下水道ストックマネジメント計画に基づき、下水道施設の点検・調査および改築設計・工事を実施する。令和 2 年度は市道第 1 号線、市道第 85 号線の管きょ更生工事などを実施する。

行財政

社会の変化に対応した効率的な市政運営

- 第六次行財政改革基本方針の策定及び行政評価制度の再構築 **NEW** 737 万円
第六期長期計画の行財政分野の施策推進のため、第六次行財政改革基本方針およびアクションプランを策定する。また、事務事業見直しの新たな仕組みや、自治基本条例および長期計画に基づく行政評価制度の構築を検討する。
- 公共施設等総合管理計画の推進 **LEVEL UP** * 1807 万円
各類型別施設整備計画の策定に向けた複合化や多機能化の議論を深めるとともに、公共施設等総合管理計画の改定のための基礎資料として、各施設の利用状況などを記載した公共施設カルテを作成する。
- 公式ホームページ管理システムの更改 **LEVEL UP** 852 万円
- ソーシャルメディアの活用による情報発信の充実 **LEVEL UP** 257 万円
- RPA の試行導入の拡大 **LEVEL UP** 498 万円
市の事務における単純・反復業務などの一部を自動化する RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の試行導入について、利用可能な端末を増やし、利用機会の拡大を図るとともに、今後の導入についての検証を引き続き行う。
- 令和 2 年国勢調査の実施 **NEW** 1 億 127 万円
- 障害者雇用の拡充 **LEVEL UP** 3599 万円
- 職員研修の充実 **LEVEL UP** 341 万円

市の予算に関する資料は、市役所市政資料コーナーやホームページなどでご覧いただけます。

都市基盤

地域の特性と魅力を生かしたまちづくり

- NEXT-吉祥寺の改定 **LEVEL UP** 1191 万円


▲吉祥寺グランドデザイン改定のためのエリアワークショップ

令和元年度内に改定される吉祥寺グランドデザインに基づき NEXT-吉祥寺の改定を行う。第六期長期計画などとの整合を図りつつ、今後 10 年間の吉祥寺のまちづくりの方策をまとめる。

- 三鷹駅北口街づくりビジョンの推進 1414 万円


▲道路空間の利活用の一例
(桜通りの木陰を生かしたカフェスペース)

三鷹駅北口街づくりビジョンに基づき、駅周辺の交通体系などの検討を進めるとともに、道路空間の継続的な利活用の可能性を調査検討する社会実験を実施する。

- 都市計画道路(天文台通り)の整備促進 3 億 7803 万円


▲天文台通り

都市計画道路 3・4・2 号線(天文台通り)の用地取得を行う。

- 都市計画マスタープランの改定 982 万円

安全で快適なみちをつくる取組み

- 景観道路事業 **ふるさと** 5 億 3828 万円
- 小型街路灯 LED 化事業 1 億 7529 万円
令和元年度に引き続き、市内約 1800 基の小型街路灯を LED 化し、照度アップによる安全・安心の向上および環境負荷の軽減を図る。
- 都市計画道路の調査、検討 **NEW** 1018 万円
- 道路通報システム改修 **LEVEL UP** 330 万円

安心して暮らし続けられるまちへ

- 自転車のルール・マナー向上と自転車利用環境の整備 **LEVEL UP** 4114 万円

警察などと連携して自転車安全利用講習会などを段階的かつ体系的に実施し、安全教育の充実を図る。自転車、歩行者などにとって安全な交通環境を創出するため、主要な道路における自転車走行空間の整備を行う。また、自転車駐車場について、より多くの利用者の利便性向上を図るため、利用体系の見直しを行う。

- バリアフリー基本構想の改定 **LEVEL UP** 974 万円
武蔵野市バリアフリー基本構想の令和 3 年 4 月の改定に向けて、既存のバリアフリーネットワーク会議に加えて、改定委員会を設置し、次期の基本構想の検討を進める。